

<信濃町教育大綱>

基本理念「未来を拓く深い豊かな学びの創造」

- ①全国に誇れる質の高い教育環境づくり
- ②文化の薫り高いまちづくり
- ③多様な学習ニーズと世代間交流を促す環境づくり
- ④地域全体で子どもを守り育てる教育環境づくり
- ⑤スポーツ活動が充実したまちづくり
- ⑥共に生きるまちづくり
- ⑦安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり

学校教育目標

基本理念「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」
～学びに向かう力と温かな人間性の涵養～



「自主」夢の実現に向けて追究し続ける児童・生徒

躍進

「友愛」命と仲間を慈しむ児童・生徒

「克己」粘り強く最後までやり遂げようとする児童・生徒

重点と方策（１）「学び」

○学ぶ意欲が高まる学習環境づくりと
学びに向かう力の育成・体力の向上

⇒具体的な方策

- ①9年間を見通した学習過程のあり方を探ります。
- ②「しなのスタイル」（授業スタンダード・授業約束・家庭学習・生活習慣）に基づき一貫した指導を行います。
- ③日常的に問いや疑問をもち、適切に解決していこうとする態度を養います。
- ④体育の授業や「汗かき元気っこ」等を通して、基礎体力の向上を目指します。
- ⑤朝読書・朝ドリルを通して、落ち着いた気持ちで一日をスタートし「集中・継続・最後までやり遂げる」の心構えを培います。
- ⑥年間を通じて読書を大切に、本に親しみ、本を愛する学校を目指します。

重点と方策（２）「人間性」

○温かな人間性の涵養と特別支援教育の充実

⇒具体的な方策

- ①道徳の授業で、考え議論することを通して、自立した人間としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。
- ②清掃を通して自らの心を磨き、挨拶・思いやり・感謝の心を意識し、人権感覚を高めます。
- ③集団不適応のある児童生徒、特別支援学級入級児童生徒等が安心して生活できる集団をつくります。
- ④5年生から部活動に参加し、やり遂げようとする姿を支援します。
- ⑤児童生徒会活動や音楽集会、児童生徒集会等を通して、異学年交流を大切に、温かな人間性をじっくり養います。

重点と方策（３）「ふるさと」

○地域と共に歩む学校
（信州型コミュニティスクールの推進）

⇒具体的な方策

- ①地域を学び、地域で学び、地域と共に学ぶ「ふるさと学習」を進めます。ア地域の「人・もの・こと」に学びながら進んで地域について追究します。イ学年毎に付ける力を明確にし、学年学級独自の活動を大事にします。ウ定期的な報告会において、職員で互いの活動を報告し合い、意見交換を行います。
- ②職員それぞれがコーディネーター役として動き、情報交換や連絡調整をして、児童生徒の活動がスムーズに行われるようにします。

校長の願い 「生きて働く力を身につけさせる」

- ①学力の向上
→学習内容の確実な定着
- ②相手意識をもった言動
→人権感覚を磨き合う集団
- ③耐える力
→困難に立ち向かい乗り越えていくたくましい姿



本校児童生徒の良さと伸ばしたい点

- ①地域の行事に参加し大人とコミュニケーションをとる児童生徒が多い。
- ②明るい挨拶ができるようになってきた。
- ③友や先生の話最後まで聞くことができるようになってきた。
- ④将来の夢や目標を持ってない児童生徒がいる。
- ⑤自分の考えを説明することに苦手意識がある。

地域の支え 「学校運営協議会」「しなの学校応援団」

- 授業支援
- 行事支援
- 児童生徒会支援
- 読書活動支援
- 部活動・クラブ活動支援
- 登下校支援（交通事故、大雪・大雨等の災害、野生動物、不審者等からの安全確保）他



振り返りと検証（PDCA）と評価

- ①見直しをもった計画立案
- ②全職員で実施
- ③児童生徒の育ち・課題の確認
- ④次への生かし方の検討

～評価の観点～

- ・学校自己評価「授業では『知りたい』『やってみたい』『できるようになりたい』と感じる」と答える児童生徒の割合を増やす。
- ・学校自己評価「自分は、友達の気持ちを考えて行動したり、友達の意見をしっかり聞いたりしている」と答える児童生徒の割合を増やす。

